



給食だより 9月号



十五夜

9月21日は、園の十五夜です。お友だちみなでお飾りを見たり十五夜のお話を先生から聞いたりします。

お月見ってなあに？

日本では、お団子やお餅、すすきや里芋などをお供えして、お月様を眺めることを「お月見」といいます。

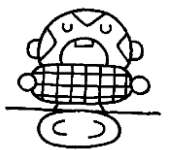


どうしてお供えするの？

十五夜と十三夜の季節は、秋。秋にはおいしい食べ物がたくさん収穫されます。「神様にたくさん収穫できたことを感謝しお供えします。そのおいしい食べ物をみんなで分けあいましょう」という意味がこめられています。



とうもろこしの皮むき体験



うさぎ組(3歳児)がとうもろこしの皮むきをしました。

- たくさんの皮におおわれているので、どの子も真剣にむいています。
- ひげ根のほわほわにふれたり、キレイに並んでいる実をながめたりしました。
- 3時のおやつに美味しく食べました。

ピーマンのタネとり



玉ねぎの皮むき



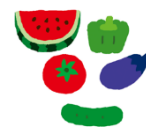
らいおん組（5歳児）がぞう組（4歳児）にお手本を見せながら種取りや皮むきを教えていました。「玉ねぎは、上からむくよ」や「ピーマンの種がいっぱいだね」など、楽しい会話が聞こえてきました。



きゅうりを食べてみよう！



ぱんだ組（1歳児）が塩もみきゅうりを作って食べました。先生が切ってお塩を入れている様子を見つめて自分たちでモミモミしました。



きゅうりは、大人気で野菜嫌いのお友だちもおかわりをしていました。

